



古志浄水場



柿原ため池

「松江市鹿島町簡易水道建設促進協議会の結成」 昭和36年(1961年)12月

昭和36年夏、松江市東生馬地内に赤痢の爆発的集団流行が発生したことにより、同年12月に松江市鹿島町簡易水道建設促進協議会を結成した。

県、佐陀川沿岸土地改良区、関係市町及び学識経験者で構成する「柿原水源調査会」を設置し、数度にわたる交渉の結果、柿原溜池の使用契約について了解が得られたことから、松江市鹿島町広域簡易水道組合が発足し、建設事業費188,891千円をもって、昭和37年11月着工し給水人口16,100人、一日最大給水量3,005 m^3 、一人一日最大給水量150 l の計画で、昭和39年6月より給水を開始し、昭和40年3月に完工した。

昭和43年4月には、名称を松江鹿島水道企業団と改称した。